

文化複合施設の 基本設計を策定しました！

今月号では、配置・平面計画
についてお知らせします！



利府街道からみた外観イメージ

町では、『個性ある文化を発信するまち』を実現するため、「生涯学習」「文化・芸術活動」「交流」の拠点となる文化複合施設の整備を進めています。

文化複合施設の基本設計は、平成28年2月に「文化複合施設基本設計策定業務に係る公募型プロポーザル」で選定された提案書を基に、町民代表のワーキンググループによりこれまで寄せられた意見や要望などを、公益性、有効性、実現可能性、コストなどについて検討し、策定しました。

文化複合施設は、住民全体の活動拠点として、文化や多様な個性を発信する場となり、一体的で賑わいにあふれ、だれもが利用しやすく、集まりたいくなるような施設を目指し、整備していきます。

※次号は、基本設計の構造・設備計画について、お知らせする予定です。

※詳しくは、基本設計概要書を町ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

配置計画

次の方針をもとに、施設の配置を計画しました。

- ①人々の活動や交流拠点としての“アクティビティ”（※）がまちににじみ出す施設配置
- ②安全性の確保と魅力ある歩行者空間づくり
- ③病院や北側住宅への日影に配慮した施設配置

平面計画

次の方針のもと、ワーキンググループの皆さんや設計者が一体となって複合施設を育てるプロセスを経て計画しました。

- ①“大きな屋根”のもと“アトリウム”が人々をつなぐ計画
- ②複合施設の相乗効果で「出会い」「交流」「発見」を誘発する計画

※アクティビティとは…行動、活動、作業、活気、遊び等の意味を持つ言葉

整備時期	施設の各機能	おおよその面積(m ²)
【Ⅰ期】 ※平成32年度 開館予定	公民館	637
	図書館	1,233
	小ホール等	1,071
	アトリウム	1,423
【Ⅱ期】 ※平成37年度 以降を予定	その他	744
	大ホール等	2,707
	郷土資料館	649
	その他	315
床面積の合計		8,779
敷地面積		2.23ha